

研究課題名	リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究
研究責任者名	広島大学病院 リウマチ・膠原病科 教授 平田 信太郎
研究期間	2020 年 6 月(倫理委員会承認後) ~2023 年 5 月
対象者	2020 年 1 月から 2023 年 5 月の間に、広島大学病院リウマチ・膠原病科でリウマチ性疾患の診療を受け、かつ、COVID-19 感染症と診断された患者。
意義・目的	リウマチ性疾患患者は、肺病変を有したり、また治療薬投与による免疫抑制状態にあることが多く、その一方で、リウマチ性疾患治療で使用される一部の薬剤は COVID-19 感染症に対する治療効果が期待され臨床試験が行われています。また、ウイルス感染症への生体反応は人種差も存在する可能性も考えられることから、日本人での症例の蓄積が求められています。今回、全国一般社団法人日本リウマチ学会(JCR)リウマチ専門医が経験したリウマチ性疾患治療中に COVID-19 と診断された症例の臨床情報を収集し、リウマチ性疾患患者における COVID-19 感染症の特徴を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は下記の通りです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません) - 年齢(生年月)、性別、妊娠の有無、人種、身長、体重、喫煙歴、電子タバコ喫煙、合併症、他のレジストリへの登録 - COVID-19 に関する項目:発症日・入院日・退院日、診断場所、診断法、症状(診断時および 1 週間後、2 週間後)、濃厚接触歴(発症日前 14 日以内)、治療薬、COVID-19 による合併症、転帰 - リウマチ性疾患に関する項目:診断名、COVID-19 診断時の疾患活動性、治療薬 COVID-19 診断後の基礎疾患治療の有無・継続・中止、 - 血液検査結果(COVID-19 診断前、COVID-19 診断時、診断後 1 週間、診断後 2 週間の 4 時点):白血球数、リンパ球数、好酸球数、ヘモグロビン、血小板数、CRP、LDH、AST、ALT、eGFR、BUN、Dダイマー、フェリチン、Na、K・バイタルサイン(COVID-19 診断時、診断後 1 週間、診断後 2 週間):血圧、脈拍、酸素飽和度(使用酸素量)
共同研究機関	九州大学、慶應義塾大学、北海道大学 日本リウマチ学会リウマチ専門医が勤務しリウマチ性疾患の診療を行う全国の医療機関 大阪市立大学臨床研究・イノベーション推進センターの運営する電子症例報告書を用いて、患者さんの匿名化した診療情報を web にて登録し、九州大学(研究責任者 堀内孝彦)、慶應義塾大学(研究責任者 竹内勉)、北海道大学(研究責任者 渥美達也)、北里大学(研究責任者 奥健志)が解析します。
試料・情報の管理責任者	九州大学病院別府病院 教授 堀内孝彦

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5539

広島大学病院 リウマチ・膠原病科 教授 平田 信太郎

研究機関：広島大学